

# みぬまハウス通信

第14号 2013年4月10日発行  
さいたま市見沼区大和田2-1288-4  
NPO法人 みぬまで暮らす会  
TEL/FAX 048-796-0295  
<http://www.minuma-hausu.net/>



見沼用水東縁 膳棚橋を望む桜と菜の花  
桜は7分咲きのころで菜の花が花盛りでした。

## ✿ 総会のお知らせ ✿

NPO法人みぬまで暮らす会の平成24年度定時総会を開催します。演劇や歌声ひろばを計画して、皆さまに楽しんでいただけるように準備しています。会員以外の方も、どうぞ自由にご参加くださるようご案内します。

日時：平成25年5月25日（土）  
13：00～平成24年度定時総会  
14：00～演劇「ねこはしる」... 演劇くらぶ  
15：00～バンド演奏 ... ワンダ-ギターサークル  
15：30～歌声ひろば ... 皆さんと一緒に  
アコーディオンとギターが伴奏します。

\* 参加費は無料です。

## 「終活くらぶ」の講座報告

「自分の老後、他人まかせで大丈夫ですか？元気の今、地域の仲間と老後の準備をしましょう！」と昨年7月、見沼区民に呼びかけた「終活くらぶ」が3月27日に終了しました。連続7回、月2回の講座には延べ100人以上の区民が参加しました。毎回、参加者の想いやこれまでの経験や疑問が続出、活発な意見交換が行われました。その話し合いの中で「終末期の医療についてよく知りたい」という希望があり、「胃ろう」について勉強することになりました。

## 「胃ろう」について考えたことがありますか？...4月17日（水）終活くらぶ第8回

胃ろうは、食べ物を自分で飲みこめなくなったときに生命を維持するための医療行為です。いまそのあり方が問われています。「胃ろう」とはどのようなことが、4月3日に実施しました。映写に続いて、豊富な看護師経験をお持ちの会員・富永さんが参加者の質問に丁寧に答えてくださったので、とても良い勉強会になりました。

4月17日に再度「胃ろう」の講座をしますので、前回参加できなかった方、ご参加ください。

## これからの「終活くらぶ」

- ・ 5月は総会準備のため終活くらぶはお休みします。
- ・ 6月5日（水）と19日（水）は希望者多数のため、再度「緊急対応ノートの書き方」講座を行います。
- ・ 7月からは第1第3水曜日の13:30から定例で「財産および各種契約に関する管理や相続」について書き込めるノートを参加者で作成していきます。



## 「麻雀くらぶ」紹介 第2・第4火曜日 13:00~15:30 参加費500円

健康麻雀を楽しむ会です。参加者の皆さん昔の活躍?を思い出し、喜々としています。脳はかなり活性化していますね。なお、金銭などを賭けることはしません。

## お知らせ

これから次のような活動を予定しています。詳細はみぬまハウスにお尋ねください。

4月17日(水) 13:30 「終活くらぶ」 テーマ:胃ろう

5月10日(金) 13:30 会員の集い「見沼区を知る・つながる」

「被災地の子供たちの支援報告」編んでるシアター・小林秀子さん

5月25日(土) 13:00 「みぬまで暮らす会定期総会と会員交流の催し」

(詳細は前面の「総会のお知らせ」を参照ください)

6月 5日(水) 10:30 「仏典を読む」 テキスト:「ウパニッシュッド」

講師:長沼行太郎(元大学教授)

日本人に馴染みの深い佛教の経典の輪読とおしゃべりの会。

6月5日と19日(水) 13:30 「終活くらぶ」 テーマ:緊急対応ノートを書こう

希望者が多いため再度実施します。

## 生活支援サービス

みぬまハウスは、介護保険で賄えない生活のあれこれを会員同士で支え合っています。

利用した人は1時間700円を支払います。働いた人は500円を受取り、事務局の活動費として200円を会がいただきます。

いつでもサポーター募集中です。あなたも支え合いの仲間になりませんか。

## 編集後記:

寒暖の差が激しいですね。風邪によく似た症状で風疹が大流行の兆しがあるようです。私は大丈夫と油断しないように手洗いやうがいを欠かさないようにしましょう。(文責:長谷川)

みぬまハウスではボランティアスタッフとしてお手伝いしていただける方を求めています。

詳しくはみぬまハウスまでお電話ください。

